

IoT 技術活用研究会について

趣旨

企業がものづくり工程に IoT を活用し、生産現場の効率化や生産性及び品質の向上等の効果を得ていくためには、ものづくりの現場で発生するデータの収集・見える化ならびにデータの分析が必要です。IoT 技術が注目され、その活用も進み始めていますが、情報、人材の不足等により、まだ十分に活用されていない状況です。そのため、栃木県産業技術センターでは、「IoT 技術活用研究会」を設置し、IoT 技術に関する技術講習、技術交流、ワーキンググループによる実践的な取組等の活動を展開し、参加企業の IoT 関連技術の導入、活用の促進を目指します。

1.研究会名 IoT 技術活用研究会

2.活動期間 平成 31(2019)年 2 月～平成 33(2021)年 3 月

3.参加費等 参加費は無料とします。

※ただし、ワーキンググループ活動（以下 WG 活動）における消耗品等に係る費用は御負担いただく場合があります。

4.参加企業等 参加のためには、以下のいずれかの要件を満たす必要があります。

- ・IoT等の導入・活用について取り組む意欲があり、県内に主たる事業所を有する企業等
- ・研究会の趣旨に賛同する大学、金融機関、行政機関、産業支援機関等

5.事務局 栃木県産業技術センター 機械電子技術部 電子応用研究室

6.活動内容 IoT 技術活用研究会は、次の活動を行います。

(1)製造現場における IoT 活用事例等に関する講演会(研究会：年 2 回)

<話題提供テーマ>

- ・IoT によるものづくり現場の生産性向上の事例紹介
- ・IoT ツールやシステムの紹介
- ・収集したデータの解析手法や事例の紹介 等

(2)IoT 技術の活用に向けた技術交流・実践的な取組 (WG 活動：年 5 回程度を予定)

取組内容については参加企業の御意見を反映する予定ですが、以下のテーマを想定しています。

<取組内容(想定)>

- ・IoT による装置稼働状況の”見える化”、保守業務効率化等に向けた取組
参加企業において装置稼働状況の見える化システムの構築からデータ取得までを行います。必要となるプログラミング等の技術についての研修も行う予定です。

7.参加募集

基本的に研究会開催の都度、当センターのホームページやメールマガジン等を通じて参加を募ります。ただし、ワーキンググループ活動については事前に内容等を説明し、参加メンバーを固定して実施します。

※ワーキンググループ活動については、ツール等の作成やデータ収集等に取組んでいたため、原則として全回参加可能な企業を対象とします。